

# 西染工(株) DXの取り組み

# 1. DX推進経営ビジョン

弊社は1954年に、タオル産地である愛媛県今治市で染色加工会社として創業しました。経営理念は「人と地球の未来を見つめ「染め」を通して豊かな生活文化を創造します。」です。今治タオルの吸水性・風合い・色を表現するには、弊社の染色整理業の技が必要です。弊社は、天候や湿度に左右される天然素材を、均一な品質で大量に染める技術を持ち、高く評価されています。

2007年からは自社商品の開発と自社で加工できる素材の幅を広げ、商品の企画から製造小売（SPA）の一貫生産体制を確立しました。この一貫生産体制に伴い、デジタルを活用した入口から出口までの情報の一元管理や生産過程における追跡（トレーサビリティ）を実施することで消費者の安心・品質の安定を図ってまいります。

今後もデジタル技術などのイノベーションを柔軟に取り込み、技術の伝承・子育てや介護のしやすい職場環境の整備など働き方の改革を実施し、DXを推進することでお客様のご希望に真摯に迅速に対応し、経営理念の実現を目指してまいります。

2024年5月 代表取締役 山本敏明

## 2. DX推進の具体的な方策

- 入口から出口まで
- 業務効率化
- 暗黙知の見える化、技術の継承

## 2. DX推進の具体的な方策

### 入口から出口まで

商品の入荷から出荷までを一元管理でき、追跡可能なシステムを構築します。商品をリアルタイムで追跡できることで、製造途中や納品後に発生した不良やトラブルを迅速に追求することができます。

早期の問題解決は、不良品の発生や欠陥品の流出を防止を可能にし、歩留まりの向上や欠陥品の回収などによる費用の負担を大幅に軽減します。

## 2. DX推進の具体的な方策

### 業務効率化

在庫・半完成品の管理、スケジュールの共有、ECサイトでの売上データをデジタルで管理することにより、業務の効率化を目指し働き方改革を実施します。

これにより、出産・育児・介護への柔軟な対応ができる体制を整えます。

## 2. DX推進の具体的な方策

### 暗黙知の見える化、技術の継承

今後働き手不足が予想される中、弊社では多能工化を推進していきます。

多能工化を進めるツールとしてデジタル技術を駆使し、誰が・いつ・どこで見ても分かるような技術・業務の継承を行ってまいります。

### 3. DX環境整備の具体的方策

- データの一元化
- 現場へのタブレット導入
- 社内コミュニケーションの活性化

## 3. DX環境整備の具体的方策

### データの一元化

商品に関する入荷・加工・納品などのデータを共有ファイル内で管理するように改善します。

正確なものの流れを把握し、品質の安定と正確な納期をお客様に提供できる体制を整えていきます。

### 3. DX環境整備の具体的方策

#### 現場へのタブレットの導入

将来的には現場にタブレット端末を導入し、機械の稼働時間や加工内容を記録できるようにします。電子化された客先別の加工仕様や薬品のSDS、過去の加工記録を閲覧できる環境を整え、誰が現場に入っても作業が行えるようにします。

また、蓄積されたデータをもとに、正確なコストを計算し、経営の安定化にもつなげます。

### 3. DX環境整備の具体的方策

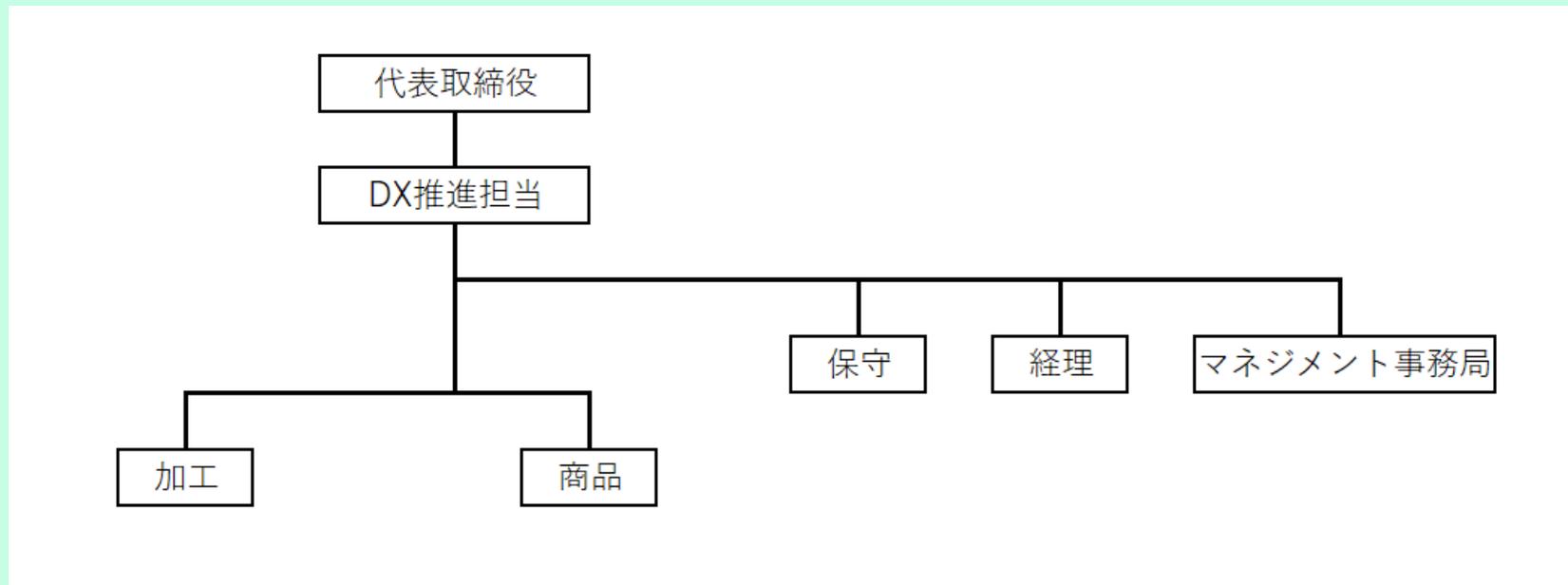
#### 社内コミュニケーションの活性化

社内掲示板やSNSでの情報発信を行います。具体的には、会社で生産・販売している商品の情報や、加工や薬品に関する情報などです。

また、機械の更新などにより、取り扱い方などが従来のものから変更になった場合は、その扱い方や新しいシステムの使用方法などを発信し、従業員全員でDX化へ順応していき働きやすい環境を整えます。

### 3. DX推進の組織体制

代表取締役をトップにDX推進担当取締役が各部門を統括します。



IPAや外部団体が提供する動画やe-learningツールを活用し、リテラシー向上を目指すことでDXに関する人材育成を行います。

## 4. DX推進の達成状況をはかる指標（KPI）

- ・ 売上に対するコストの削減率
- ・ 業務の簡略化
- ・ リモートワークの実施状況
- ・ 有給休暇取得率の向上

など